



## ありあけ

2023(令和5)年  
2月1日(水)

## 子どもたちの幸せと探求学習

校長 前嶋 正秀

昨年の終わりごろ、私が日頃から尊敬してやまない山本崇雄先生の教育講演を聴く機会に恵まれました。その時の演題は「探求学習」についてでしたが、毎度のことながら山本先生のお話は大変興味深く、また示唆に富むものでした。この講演は「教育の最上位の目標を『子どもたちの幸せ』に置く」という考えから派生させた、探求学習の大切さを説くものでしたが、今号はこの講演を取り上げたいと思います(ちなみに、「ありあけ」第18号でも、「学びの目的は『ウェルビーイング』」というタイトルで、探求的な学びについて触れていますので、もしお時間があればそちらもお読みいただければ幸いです)。

ある専門家によれば、約2万人の日本人を対象に厳格な調査をしたところ、自己決定力が高いことと、幸福度が高いこととの間には明確な相関性があるということが判明したそうです。この意味で言えば、私たちが子どもたちに幸せになってほしいと願うならば、彼らの自己決定力を高める必要があるということになりますが、教育現場においては「幸せになるには自己決定できる自律型学習者を育成する」ことが重要になってきます。そして自律型学習者を育成するためには、探求的な学びは必要不可欠だということになります。

なぜなら、探求学習を続けることによって彼らは例えば、(1)情報を取捨選択して上手に活用する(2)対話を通して自己理解を深める(3)自らの感情や欲求をコントロールできるようになる(4)他者とつながる(5)思考力や判断力が高まることで新たな価値を創造する、などさまざまなスキル(コンピテンシーと言ってもいいかもしれません)を身につけることができるからです。そしてこのようなスキルが身についた結果、人は自ら考えて行動できるようになり、これがひいては自己決定力が高まることにつながる、というわけです。

イギリスの教育家であるケネス・ロビンソンは「教育はガーデニングに似ている。土壌が豊かであれば植物は自然に育つように、環境を整えば、子どもは自ら育つのです」と言っています。私たち教員は、子どもたちが自ら育つ、言い換えれば主体的に学ぶことができるように、土壌を豊かにする(端的に言えば「カリキュラム」という教育環境を整備していく)必要があると考えています。

## かえつ有明 Instagram のご紹介

本校ホームページ「最新情報」ページよりも、リアル・速報・詳細で、たくさんの写真・動画が掲載されています。

広報部(入試広報と学校生活) [https://www.instagram.com/kaetsu\\_kouhou/](https://www.instagram.com/kaetsu_kouhou/)

ドルフィン(情報センター図書館) [https://www.instagram.com/dolphin\\_kaetsu\\_library/](https://www.instagram.com/dolphin_kaetsu_library/)

\*今後の予定については、急な変更の可能性もありますので、学校からのメール連絡等をよくご確認ください。

今回は3/1(水)発行予定です。(広報部)